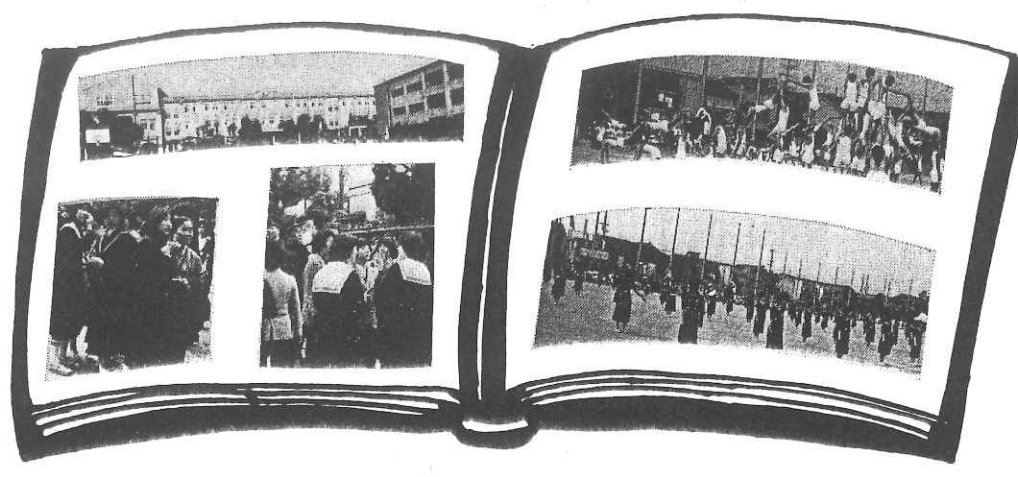


# 第32回



# 卒業式



発行所  
大阪市阿倍野区阪南  
町一丁目30番34号  
大阪府立阿倍野高校  
新聞部  
編集責任者 大柿 謙  
発行責任者 柴田 晴美

英雄のいない時代は不幸だが、  
英雄を必要とする時代は  
もっと不幸だ。  
ベルトルト・ブレヒト

## 大きく翔び立て

本日、我が校を巣立つ第三十二期卒業生の皆さんおめでとうござい  
ます。卒業にあたって、三年生担当の先生およびお世話になった方々からお言葉  
をいただきました。先輩方の今後のご健闘をお祈りします。

人間性を忘れずに  
学校長 平田 泰世  
阿倍野高校第三十二回の  
卒業生三三〇名の諸子。言  
い古されたことばだが、あ  
すから世の荒波に立ち向か  
う君たちに幸多かれと祈り  
ます。昨年末、突如として  
生じた石油問題に端を発し  
た政治的経済的諸問題は、  
今後如何ように発展するか  
は何人の予断も許さず、た  
めに一九八〇年代は混沌の  
時代といわれる。

世の荒波の「世」はかっ  
ては世間であったが、これ  
からは「世界」を指すよう  
になった。  
また、人口や食糧もこれ  
からは等閑できない時代と  
なった。われわれがこの地  
球上に生き残るためにはど  
うすればよいかが、世界共  
通の課題となった。といっ  
ても君たちにそれをいま解  
決せよ、よいものではな  
く問題意識としてもって  
ほしいのである。新しい酒  
は新しい革袋に、という。  
阿倍野で学んだものを基礎  
に、人間性を片時も忘れ  
ず暮らしてほしい。

教頭 畑中 義治  
卒業証書を手にした三  
七〇名の皆さんおめでと  
う。心からお祝い申し上げ  
ます。  
さて、果立ちゆく諸君に  
二つのことを強調したい。  
第一は皆さんの顔や表情が  
それぞれ違っているのと同  
じように、一人一人が、か  
けがえのない「よき」を持  
つ。

お世話になった方々から  
三年学年主任 弥園 時雄先生  
阿倍野時代ほど世の中  
は甘くない。それを心に念  
じて、人生はまじめに過ご  
すこと。  
小山先生(国語)  
どんな時にでも負けない  
でがんばって下さい。  
先生(社会)  
諸君たちは今後この世  
界に入っても、必ずぶち  
あたねばならない壁があ  
る。絶望感に打ちひしがれ  
る時があるだろうが、そ  
でそれが絶望であると思  
ってはならない。本心に  
から絶望と思った時が本  
当の絶望である。いかなる  
状況においても、最後まで  
希望を捨ててはならない。  
中原先生(数学)  
創立以来この阿倍野高に勤  
めて多くの生徒をみてきま  
した。諸君の先輩方がそれ  
ぞれ社会で活躍しているの  
をうれしく思います。英語  
数学などの成績が少々悪い  
ことなど大した問題ではあ  
りません。最も大切なこと  
は健康と誠意です。同窓会  
総会には是非出席して元気  
な顔をみせて下さい。ご健  
闘をお祈りします。  
澤田先生(理科)  
ここでも歩き続けてく  
ださい。  
樺島先生(英語)  
いつも心に何か燃えるも  
のを持って謙虚に生きてほ  
しい。  
小西先生(英語)  
常に自分の前をみつめ、  
自分の道を開拓していつ  
も北極星(健康室)  
何ごとをするにも健康が  
大切。体に気をつけてがん  
ばってください。  
図書館より  
読書を通じて充実した人  
生を卒業後も図書館を利  
用してください。  
事務室より  
健康で自主性を持って、  
がんばってください。  
学校食堂のわより  
元気でがんばってください。  
給品部のおばさんより  
長い人生には楽しい時、  
ともなく学習にうちこみ、  
無事に卒業の日を迎えられ  
た事に心から「おめでとう  
」と言いたい。  
これからの諸君の人生も  
大切に、真剣に取り組  
んでほしい。  
三組担任 小泉 育代先生  
皆さん御卒業おめでとう  
ございませう。思い出多き高  
校を巣立られるに当って心  
に去来する事、多々あると  
思いますが、美しく清く、  
そしてほろ苦く持ち続けて  
ゆかれますように。先人の  
言葉に「人に生まれるは易  
く人となるは難し」とあり  
ますが、心に留めていただ  
きたくはなむけの言葉とし  
ます。  
四組担任 富田 克先生  
早や三年の歳月が過ぎ、  
今日諸君は本校を巣立つて  
いく。病氣や事故にあうこ  
そ。

一組担任 大村みず枝先生  
終了のベルとともに目覚  
める。当った人にコソコソ  
教えた者が聞通っているの  
かしがった。内職中に視線  
が会って慌てて、しかし、  
さりげなく隠した。和訳を  
ことなど大した問題ではあ  
りません。最も大切なこと  
は健康と誠意です。同窓会  
総会には是非出席して元気  
な顔をみせて下さい。ご健  
闘をお祈りします。  
澤田先生(理科)  
ここでも歩き続けてく  
ださい。  
樺島先生(英語)  
いつも心に何か燃えるも  
のを持って謙虚に生きてほ  
しい。  
小西先生(英語)  
常に自分の前をみつめ、  
自分の道を開拓していつ  
も北極星(健康室)  
何ごとをするにも健康が  
大切。体に気をつけてがん  
ばってください。  
図書館より  
読書を通じて充実した人  
生を卒業後も図書館を利  
用してください。  
事務室より  
健康で自主性を持って、  
がんばってください。  
学校食堂のわより  
元気でがんばってください。  
給品部のおばさんより  
長い人生には楽しい時、  
ともなく学習にうちこみ、  
無事に卒業の日を迎えられ  
た事に心から「おめでとう  
」と言いたい。  
これからの諸君の人生も  
大切に、真剣に取り組  
んでほしい。  
三組担任 小泉 育代先生  
皆さん御卒業おめでとう  
ございませう。思い出多き高  
校を巣立られるに当って心  
に去来する事、多々あると  
思いますが、美しく清く、  
そしてほろ苦く持ち続けて  
ゆかれますように。先人の  
言葉に「人に生まれるは易  
く人となるは難し」とあり  
ますが、心に留めていただ  
きたくはなむけの言葉とし  
ます。  
四組担任 富田 克先生  
早や三年の歳月が過ぎ、  
今日諸君は本校を巣立つて  
いく。病氣や事故にあうこ  
そ。

二組担任 阿波 和雄先生  
私は君たちと同様に阿倍  
高へ来て三年、今思うこと  
多し。  
三組担任 小泉 育代先生  
皆さん御卒業おめでとう  
ございませう。思い出多き高  
校を巣立られるに当って心  
に去来する事、多々あると  
思いますが、美しく清く、  
そしてほろ苦く持ち続けて  
ゆかれますように。先人の  
言葉に「人に生まれるは易  
く人となるは難し」とあり  
ますが、心に留めていただ  
きたくはなむけの言葉とし  
ます。  
四組担任 富田 克先生  
早や三年の歳月が過ぎ、  
今日諸君は本校を巣立つて  
いく。病氣や事故にあうこ  
そ。

五組担任 杉野登喜子先生  
御卒業おめでとうござい  
ます。  
三年間は夢のように過ぎ  
今、あなたの方の旅立ちを寿  
ぐと共に、前途に幸あれ  
と心よりお祈りいたします  
これから世の中の荒波が  
容赦なくあなたの方の廻りに  
寄せてくると思いますが、  
あの「エリコへ下る道」の  
エル・エリコへの道に最  
後の瞬間まで「隣人愛」を  
もちえた人は幸である。と  
いうことを覚えておいてほ  
しいと思います。では健康  
に留意して誠実に生きて下  
さい。  
六組担任 一谷 英晴先生  
この三年間いろいろな事  
苦しい時がありました。けれ  
どそれを乗り越えて、いつ  
も笑顔でこれからの生活を  
送ってください。  
警備のおじさんより  
今後も戸締りに気を付け  
てください。

## 就職内定者

本年度の就職予定者は次  
の通りである。

- |           |           |      |           |     |        |
|-----------|-----------|------|-----------|-----|--------|
| 住友銀行      | 大野美由紀(三組) | 山根短資 | 牧 真由美(四組) | 豊中市 | 敬蔵(四組) |
| 協和銀行      | 脇田 万里(四組) | 山根短資 | 牧 真由美(四組) | 豊中市 | 敬蔵(四組) |
| 三和銀行      | 山中加代子(四組) | 山根短資 | 牧 真由美(四組) | 豊中市 | 敬蔵(四組) |
| 池田 美次(四組) | 金沢 昌子(四組) | 山根短資 | 牧 真由美(四組) | 豊中市 | 敬蔵(四組) |
| 中島千津江(五組) | 長岡 妙子(五組) | 山根短資 | 牧 真由美(四組) | 豊中市 | 敬蔵(四組) |
| 武田薬品      | 加藤 桂子(二組) | 山根短資 | 牧 真由美(四組) | 豊中市 | 敬蔵(四組) |
| 小島亜矢子(二組) | 津田鋼材      | 山根短資 | 牧 真由美(四組) | 豊中市 | 敬蔵(四組) |
| 阪和興業      | 田村 光代(二組) | 山根短資 | 牧 真由美(四組) | 豊中市 | 敬蔵(四組) |
| 松下電器      | 室井 美枝(二組) | 山根短資 | 牧 真由美(四組) | 豊中市 | 敬蔵(四組) |
| 三洋電器      |           | 山根短資 | 牧 真由美(四組) | 豊中市 | 敬蔵(四組) |



「近頃の若者は、三無主  
義を通り越して五無主義に  
なった」と言われる中で、  
無気力でないことが一つあ  
る。オートバイの免許取得  
の件である。本校では、家  
庭の事情のほかは禁止され  
ている。にもかかわらず、  
免許の取得者、および希望  
者は一向に減らない。しか  
し彼らの一部は、授業中に  
授業そっちのけで、免許取  
得のための勉強をしている  
まじで、そのテストを、学  
校を休んで受けに行ってい  
る現状である。積極的なこ  
との上ない。しかし、そ  
こまでしてまでも取得の  
理由は、やはり無責任であ  
る。「みんなも乗っている  
から」とか「乗らないと時  
代遅れだから」という妙な  
理由をつけて、「何故必要  
なのか」という、根本的な  
問題にふれていないからだ  
。オートバイという乗り物  
は、確かに便利だし、自転  
車のような努力もいらなく  
い。しかし、ちよっと自分が運  
転を誤っただけでも、人の  
命を奪う凶器と化すること  
に気がついていないだろうか。  
安易な理由で、気のゆるん  
だままオートバイに乗ると  
事故になるのは必至であろ  
う。そうでなくとも、スピ  
ードが容易に出るオートバ  
イは、事故が発生しやすい  
のだから、十分な配慮が必  
要である。これは「三無主  
義」を自ら打ち建てて免許を  
取った人もあらう。不平不  
満を暴走することや、晴ら  
そうというのだろうか。それ  
は勝手だが、他人の迷惑  
を知っているのだろうか。  
ルールを守るという事は、  
社会生活の大原則であるの  
だ。それを守れないのなら  
オートバイに乗らないほう  
が社会のためになる。いや  
別に気を晴らす方法を考え  
てもらいたい。人、人命の  
かわるこの乗り物を、い  
い加減に扱おうと、いずれ  
身を滅すのではないらうか



---

『ウライノリマス』―新聞部